

福島の子どもたちに“夢と健康を”

～この夏休み、南相馬市の中学生を国際交流の船旅に送り出します～

呼びかけ

私たちは、巨大地震と大津波のみならず、日本人がかつて経験したことのない原発災害に見舞われた福島県南相馬市の子どもたちに、この夏休み「夢と健康」をプレゼントしたいとの思いから、国際交流NGOピースボートの船旅に中学生を招待するプロジェクトを立ち上げました。地元の方々からも、このような機会だからこそ子どもたちに海外体験をさせたいとの声もいただいております。宮城県石巻市で被災者救援活動を続けるピースボートも全面的な協力を約束してくれています。

資金ゼロからの立ち上げです。何とぞ、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

目的

- 子どもたちを、夏休みの短期間だけでも放射能の及ばない安全なところに避難してもらい、ご両親の不安と負担を少しでも軽減する。
- 子どもたちに広い大海原に行く船旅をのびのび楽しんでもらいながら、世界各地の多様な社会や文化、そして、実践的な英会話なども学ぶ機会を提供する。
- 福島の現状と子どもたちの生の声を世界に届け、同時に海外からの支援に対する感謝の気持ちも届ける。
- 貴重な海外体験と多くの人々との出会いを体験した子どもたちに、福島へ、南相馬へ元気を持ち帰ってもらう。

対象

福島県南相馬市の中学生 約 40 名

船旅の概要

2011 年 7 月出航の「第 74 回ピースボート・地球一周の船旅」に 9 日間部分乗船。
同クルーズには日本人の一般参加者も約 800 名乗船する予定です。

旅程(予定)

- 7 月 24 日 福島県南相馬市を出発、空路ベトナムへ
- 7 月 25 日 ベトナム(ダナン)到着。[枯葉剤の被害者らと交流。ピースボート第 74 回クルーズに乗船。]
- 7 月 28 日 シンガポール寄港 [中国、マレー、インド、アラブなどの多文化共生社会を体験]
- 8 月 2 日 スリランカ(コロンボ)に寄港・下船 [2004 年の大津波で被災したスリランカの子どもたちとの交流も予定]
- 8 月 3 日 空路帰国。南相馬市到着。

プロジェクト呼びかけ人

鎌田實(長野県諏訪中央病院名誉院長、作家、呼びかけ人代表)
田部井淳子(登山家)、田中優(環境活動家)、香山リカ(精神科医)

◆支援金のお願い◆

このプロジェクトを実現させるための募金の呼びかけを行っています。目標金額は 1000 万円です。皆様のご支援をお願いいたします。

<振り込み先>

郵便振替口座：00180-3-177458 加入者名：ピースボート ※通信欄に「フクシマ」とご記入ください

お問い合わせ

福島子どもプロジェクト [担当：川崎、篠原]
169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1 (ピースボートセンター内)

Tel : 03-3363-7561 Fax : 03-3363-7562